

瑞浪市市民まちづくり会議

取組概要説明シート

平成28年1月25日実施

瑞浪市市民まちづくり会議 取組概要説明シート

平成28年1月25日 実施

取組推進方針	取り組み	自治会加入の促進					
	担当課	市民協働課					
	スケジュール 取組 目 的	年 度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		取り組み内容	パンフレット 配布	パンフレット 配布	パンフレット 配布	パンフレット 配布	パンフレット 配布
		備 考					
	現況評価及び今後の 方向性	自治会加入促進のため、転入者などにパンフレットを配布するほか、加入しやすいよう手続きを簡素化します。また、自治会加入へのインセンティブを与える制度の検討を行います。					

【取組状況など】

1. 本年度に取り組んだ内容

自治会加入案内のリーフレット及び自治会加入申込書を作成し、転入(転居)手続き時に、市民課(または各コミュニティセンター)窓口で自治会加入申込みができるようにしています。また、防災ラジオの貸与受付時に、自治会未加入者に対して、加入案内を行っています。

自治会活動に対するガイドブック的役割を果たす『自治会ハンドブック』を作成、全区長に配布し、透明で民主的な自治会活動の展開を推進することで、自治会加入率の向上につなげています。

2. 取組実施期間

通年(4月1日～3月31日)

3. 取組実績

- ・自治会加入申込書受理件数 11件(1月15日現在)
- ・自治会ハンドブックの配布 全区長会長及び区長

4. 現況評価

(1) 取り組んだ内容に対する評価

本年度途中から、設置案内窓口を拡充(建築確認・市営住宅関係窓口(都市計画課)、水道開始窓口(上下水道課))するなど、加入率アップに向けた新たな取組が実施できました。

インセンティブを与える制度については、各地区区長会長で組織する「市連合自治会」でも先進地の事例を学んだり、意見交換をしたりする中、将来的な結論までにはいたっておりませんが、当面の間はこれまでどおり地道な勧誘活動を継続していくことを基本線に進めていくこととなっています。

また、瑞浪市版“まち・ひと・しごと創生総合戦略”の中に市民参加の推進戦略として自治会加入促進事業を挙げ、平成31年度までに自治会加入率72%を達成することとしました。

(2) 5つの基本原則に関する評価

市民参加 : 住民が参加しやすい自治会の実現に向け、各種リーフレット等の作成配布を行いました。

協働 : 各地区の自治会と協働で自治会加入促進を進めています。

情報共有 : 年6回開催の連合自治会にて情報共有を図りました。また、年1回実施のまちづくり連絡会との意見交換会にて各地区間の情報共有を図りました。

(3) 評価に対する今後の取組み

毎年自治会ハンドブックの内容を見直し(内容の充実)、各区長会長及び区長へ配布します。

まち・ひと・しごと創生総合戦略に挙げた自治会加入率の達成に向け、自治会と協働の施策等を検討します。

住民が参加しやすい自治会体制の促進を検討します。

瑞浪市市民まちづくり会議 取組概要説明シート

平成28年1月25日 実施

取組推進方針	取り組み		まちづくり推進組織支援 まちづくり推進協議会連絡会の開催				
	担当課		市民協働課				
	スケジュール 取組み	年 度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		取り組み内容	推進協議会 連絡会開催	推進協議会 連絡会開催	推進協議会 連絡会開催	推進協議会 連絡会開催	推進協議会 連絡会開催
		備 考					
	現況評価及び今後の方向性		各地区の組織の民主的な活動については、規約が各組織で整備されています。また、組織の運営は総会資料により広く公開されています。 各地区間の活動等の連絡調整及び市全域のまちづくり推進組織の活動について、まちづくり推進協議会連絡会を開催し、情報の共有化等を図ります。 NPO法人化の相談窓口となります。				

【取組状況など】

1. 本年度に取り組んだ内容

まちづくり推進協議会連絡会及び連合自治会との意見交換会を開催し、各地区の取組紹介や課題等への取組についての意見交換及び市からの連絡・報告を行い、情報共有を図りました。また、各地区まちづくり推進組織の役員と夢づくりチャレンジ研究室の研究者とともに、先進地事例視察研修(郡上市“まちづくりフェスティバル”への参加)を行い、若者が考えるまちづくり事業の発表や郡上市の協働のまちづくりの在り方を視察しました。また、別に掲げた『夢づくり地域交付金』や『夢づくり地域活動支援室職員の制度』により、まちづくり推進組織に対して、財政的・人的支援を行っています。

2. 取組実施期間

通年(4月1日～3月31日)

3. 取組実績

- ・まちづくり連絡会の開催
- ・先進地事例視察研修の実施

4. 現況評価

(1) 取り組んだ内容に対する評価

毎年度実施しているまちづくり推進協議会連絡会及び連合自治会との意見交換会に加え、本年度10月からスタートした夢づくりチャレンジ研究室の研究者も同行した視察研修が実施できました。これまでなかった各まちづくり推進組織と若者の連携が図れ、今後のまちづくり事業の活性化が期待されます。

(2) 5つの基本原則に関する評価

- 市民主役 : 各地区で市民が主体となったまちづくり活動が展開されています。
- 市民参加 : 各地区で市民参加型のまちづくり事業が展開されています。また、夢づくりチャレンジ研究室の設置で、若者が積極的にまちづくり活動に参画する体制が整いました。
- 協働 : 市は各地区まちづくり推進組織と協働でまちづくりを展開しています。
- 情報共有 : まちづくり推進協議会連絡会にて情報共有を図りました。また、年1回実施の連合自治会との意見交換会にて各地区間の情報共有を図りました。

(3) 評価に対する今後の取組み

まちづくり推進組織の活動を広く一般に広めるための取組を検討・実施します。
夢づくりチャレンジ研究室との連携を密にし、まちづくりの活性化につなげます。
区長会との連携を密にしたまちづくり活動を推進します。

瑞浪市市民まちづくり会議 取組概要説明シート

平成28年1月25日 実施

取組推進方針	取り組み		夢づくりチャレンジ研究室設置				
	担当課		市民協働課				
	スケジュール 取組み	年 度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		取り組み内容	制度運用開始 研究室設置、研修	研修 事業提案	研修 事業実施 事業提案	研修 事業実施 事業提案	研修 事業実施 事業提案
		備 考	新規事業				
	現況評価及び今後の方向性		まちづくりへの若者の参加を促進するため、まちづくり推進組織や市の実施するまちづくり事業に関する提案と実行を担う若者を中心とした研究室を設置します。				

【取組状況など】

1. 本年度に取り組んだ内容

夢づくりチャレンジ研究室の研究員募集をホームページ、広報みずなみ、ポスター掲示、域学連携(安達学園中京学院大学)先などでも行い、20代から30代前半の若者の応募をいただきスタートしました。
現在は、13名の研究員が2チームに分かれてグループ会議を重ねています。

2. 取組実施期間

通年(10月23日～3月31日)

3. 取組実績

- ・研究員の募集(1月25日現在 参加者13名)
- ・先進地事例視察研修の実施
- ・グループ別会議の実施

4. 現況評価

(1)取り組んだ内容に対する評価
現在は、研究員が2チームに分かれ、各地域の課題や、どんなまちづくり事業の提案をしていくかなどについて会議を重ねています。若者がまちづくりについて考える機会の創出、市民が主役のまちづくりへの参加意識を養うことができました。 研究室スタート後、研究員が友人等を誘い、研究員が1名増員しました。若者のまちづくりへのチャレンジ精神が広まっています。
(2)5つの基本原則に関する評価
市民主役 : 研究員が主体となってまちづくり事業の企画にあたっています。 市民参加 : 研究室には、特に年齢制限を設けず、まちづくりに積極的な者が参加できる体制にしています。 協働 : 研究員は、まちづくり事業を企画し、地域と協働で事業を展開します。 情報共有 : 市は、研究員を支援する体制(若者支援職員)を整備し、活動における必要な情報の提供をしています。
(3)評価に対する今後の取組み
研究員の活動が円滑に進むよう、若者支援職員がバックアップします。 まちづくり推進組織との連携を密にし、まちづくりの活性化につなげます。 まちづくりの活性化と将来の市を担う人材の育成のため、研究員の増員を図ります。 中京学院大学との域学連携を継続し研究員の確保をします。